

兵庫県立病院における 給与費比率の分析

令和6年9月11日

第2回

兵庫県立病院経営対策委員会

Contents

Chapter 01 給与比率

各病院別給与費比率	01
-----------	----

Chapter02 給与分析

病院事業職員の給与決定の考え方	02
-----------------	----

職種別職員数・給与額構成比率	03
----------------	----

民間との給与水準の比較（R4）	04
-----------------	----

他府県病院との給与水準の比較（R4）	05
--------------------	----

R4病院経営比較表における職員1人1日あたり 診療収入	06
--------------------------------	----

R4病院経営比較表における職員1日1人あたり 患者数	07
-------------------------------	----

Chapter03 体制・運用分析

看護師夜勤基準の各種規定	08
--------------	----

民間病院との夜勤配置の比較	09
---------------	----

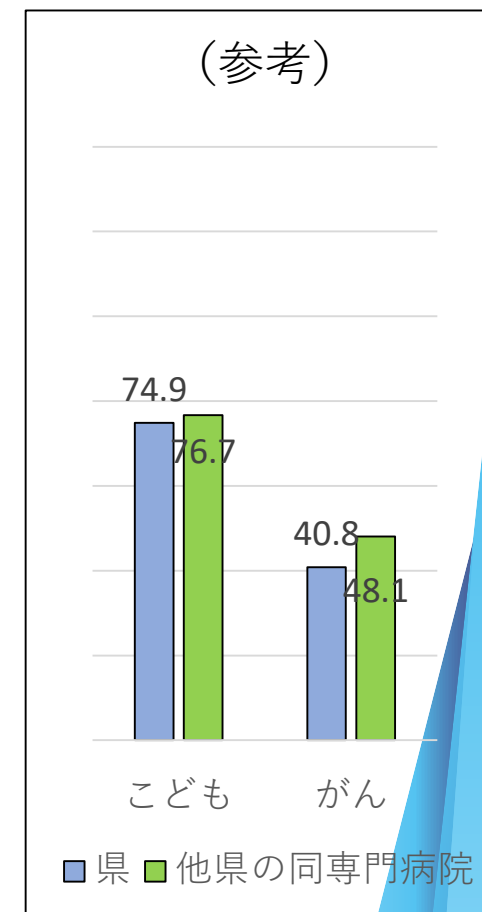
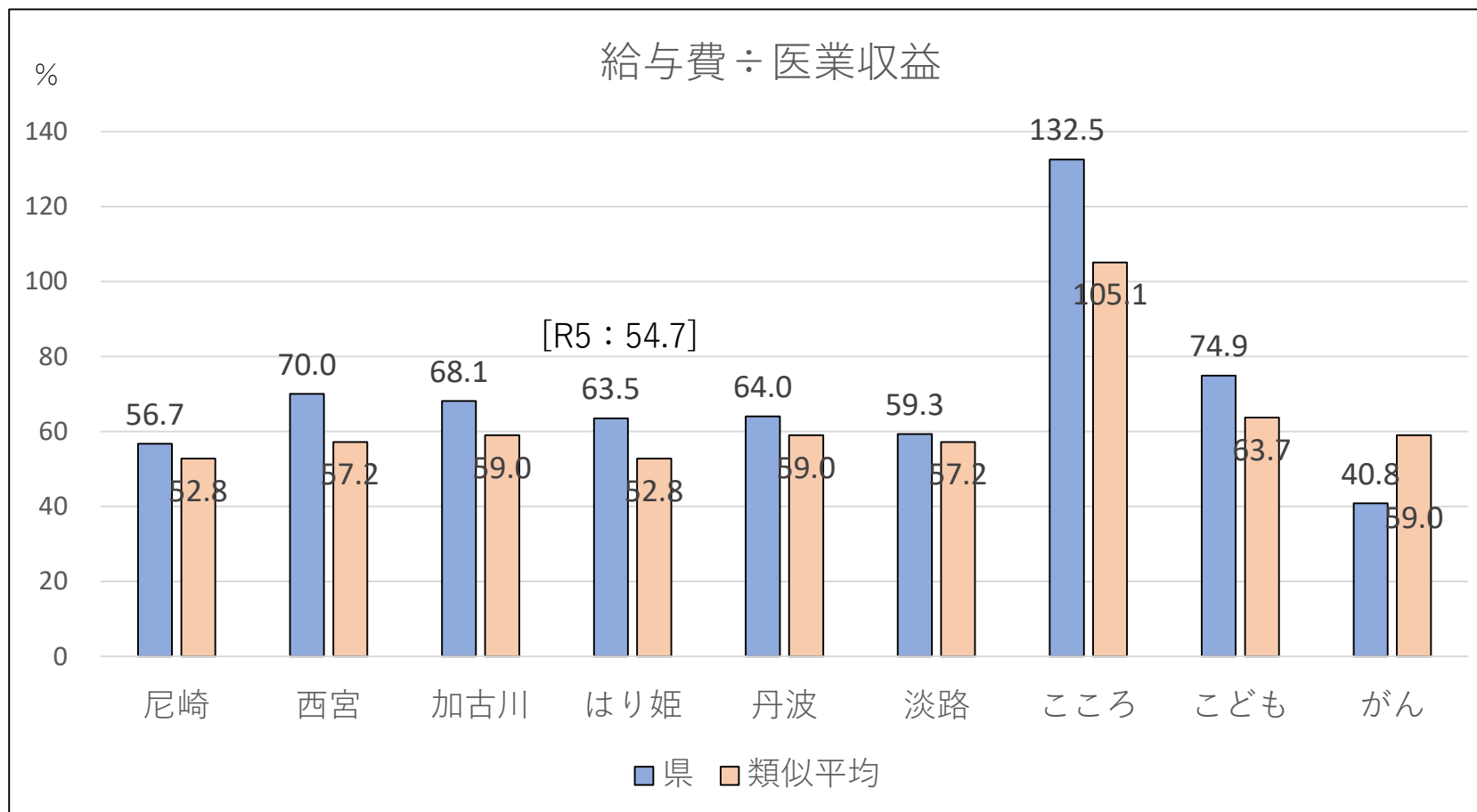
本県看護体制における想定稼働率	10
-----------------	----

病院・病棟別病床数・稼働率（R5）	11
-------------------	----



各病院別給与費比率

同規模病院と比較して、給与費比率は高い傾向にある



出典：総務省 令和4年度 病院経営比較表

類似平均：類似区分（一般病院の500床以上、400～500床、200～400床、200～300床、100～200床、50～100床、50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき総務省が算出

補足：医業収益には繰入金を含む

〔総務省 令和4年度
公営企業年鑑から作成〕

病院事業職員の給与決定の考え方

- 病院事業職員の給与は、地方公営企業法の定めるところにより、条例等の規定に基づき決定
- 給与制度の枠組みは、基本的に国の制度に準じており、他府県の病院事業職員とも同様
- 給与水準は、人事委員会勧告を踏まえ決定される知事部局職員の取り扱いも参考として決定
- 結果として、国や他府県の同種の事業に従事する職員の給与との均衡が図られたものとなる

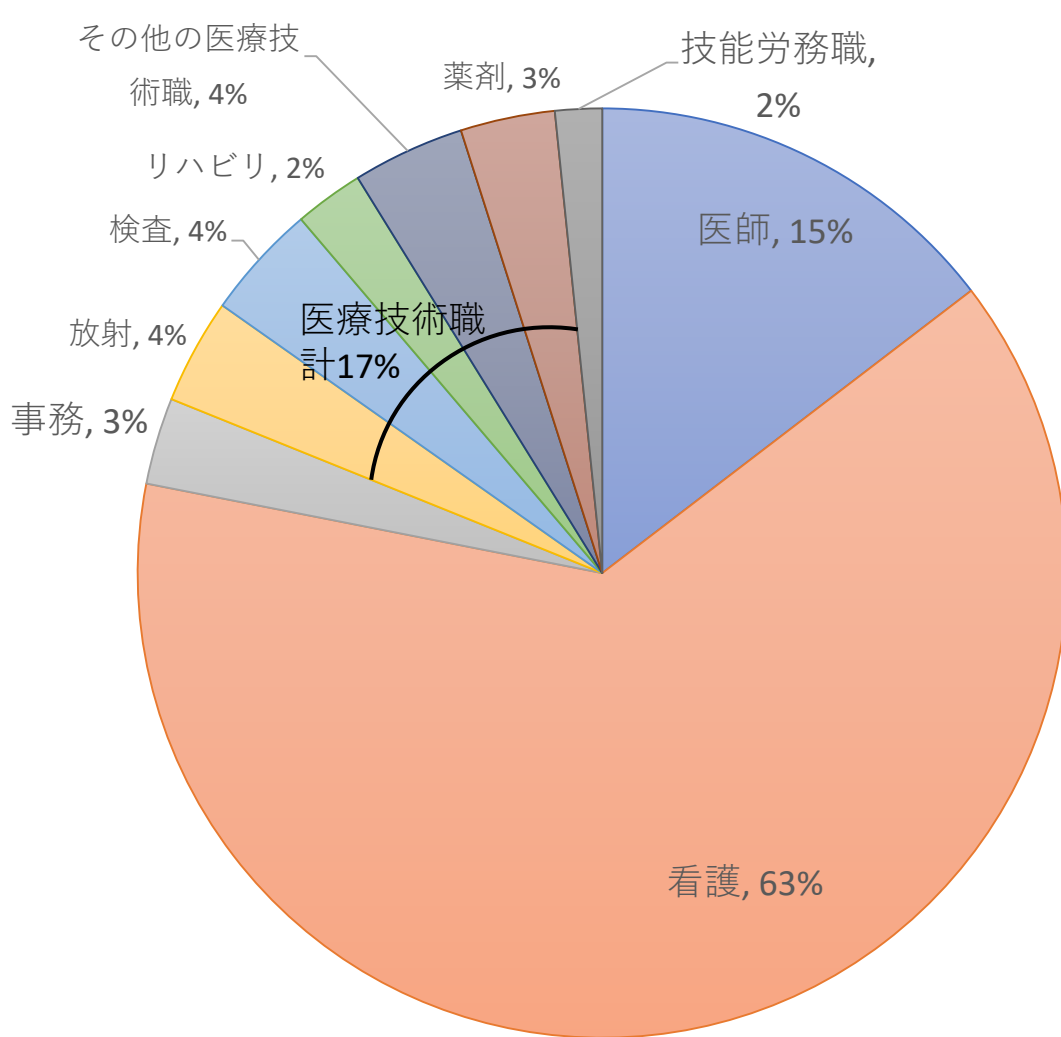
職種別職員数・給与額構成比率

Chapter 02

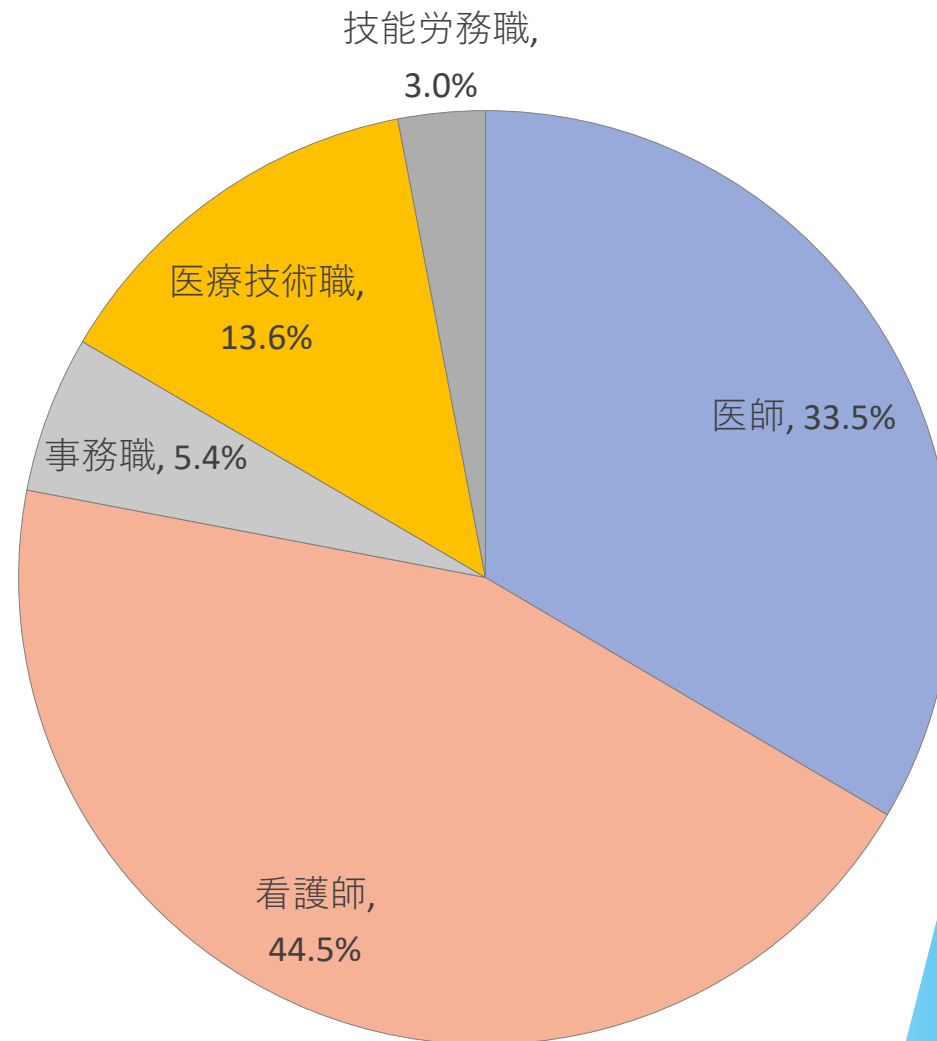
給与分析

03

給与費比率の削減には、職員数・給与額の構成比率の大半を占める看護師、医師の現状分析が必要



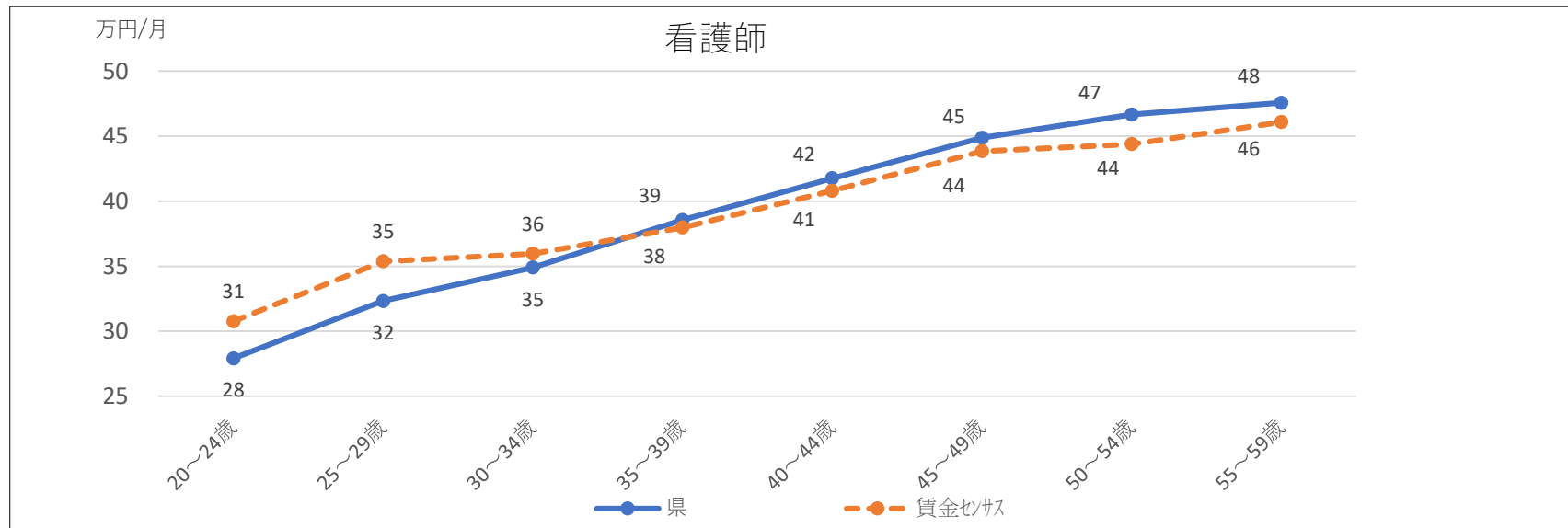
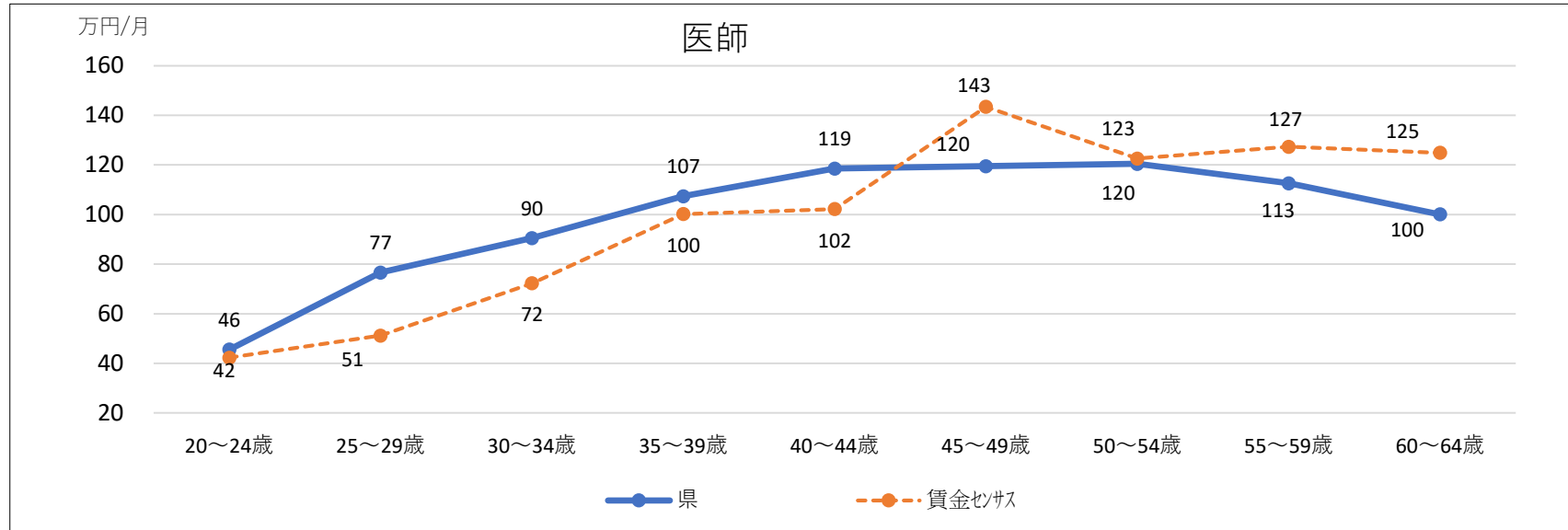
職員数構成比率



給与額構成比率

民間との給与水準の比較[R4]

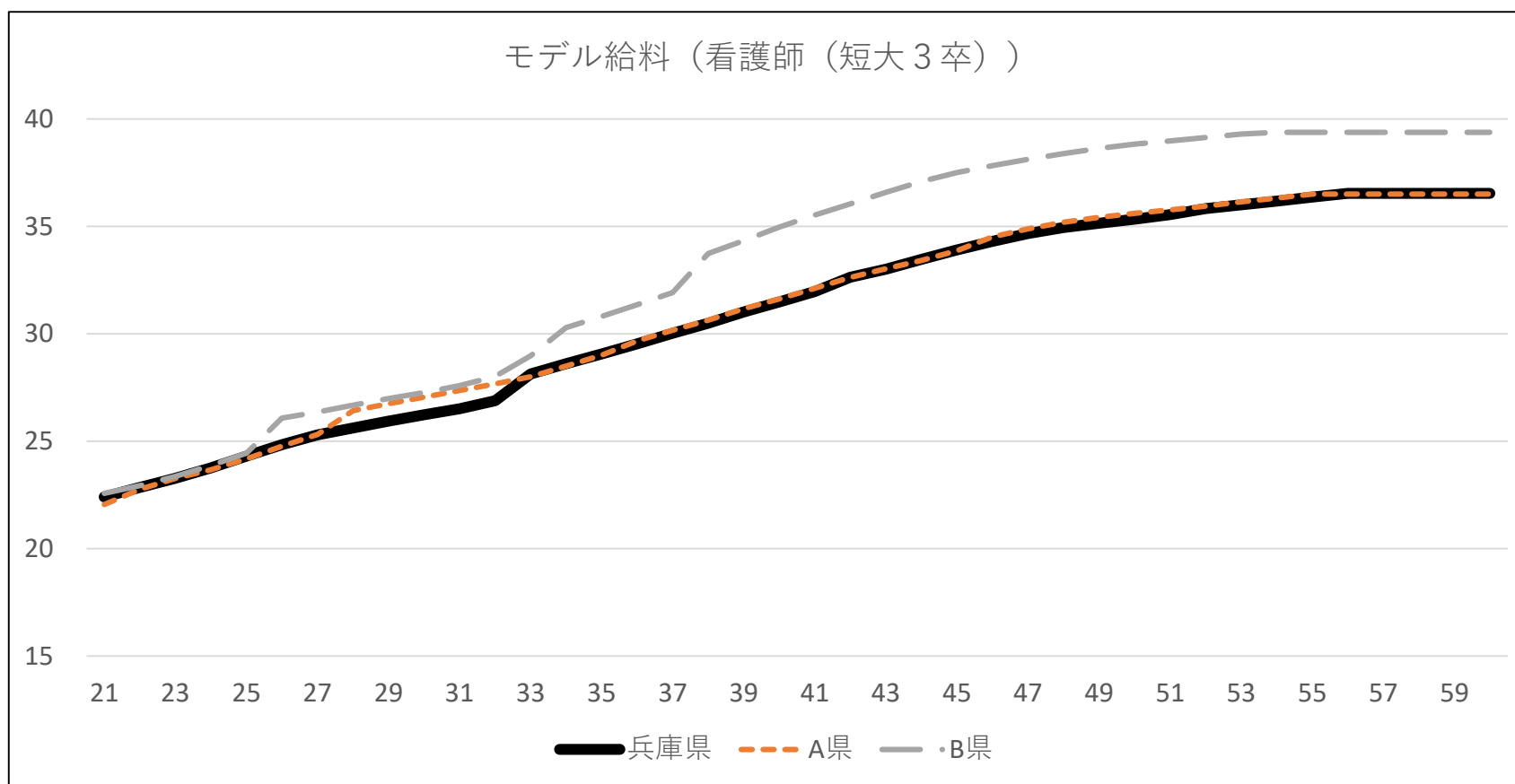
民間事業者データ（常用労働者10人以上の事業所）との比較



賃金センサス：毎年実施されている政府の「賃金構造基本統計調査」の結果に基づき、10人以上の常用労働者を雇用する民営事業者について、労働者の性別、年齢、学歴等の別に、その平均収入をまとめた資料。

他府県病院との給与水準の比較 (R4)

類似都道府県のモデル給料と比較



R4病院経営比較表における職員1人1日あたり診療収入

Chapter 02
給与分析

06

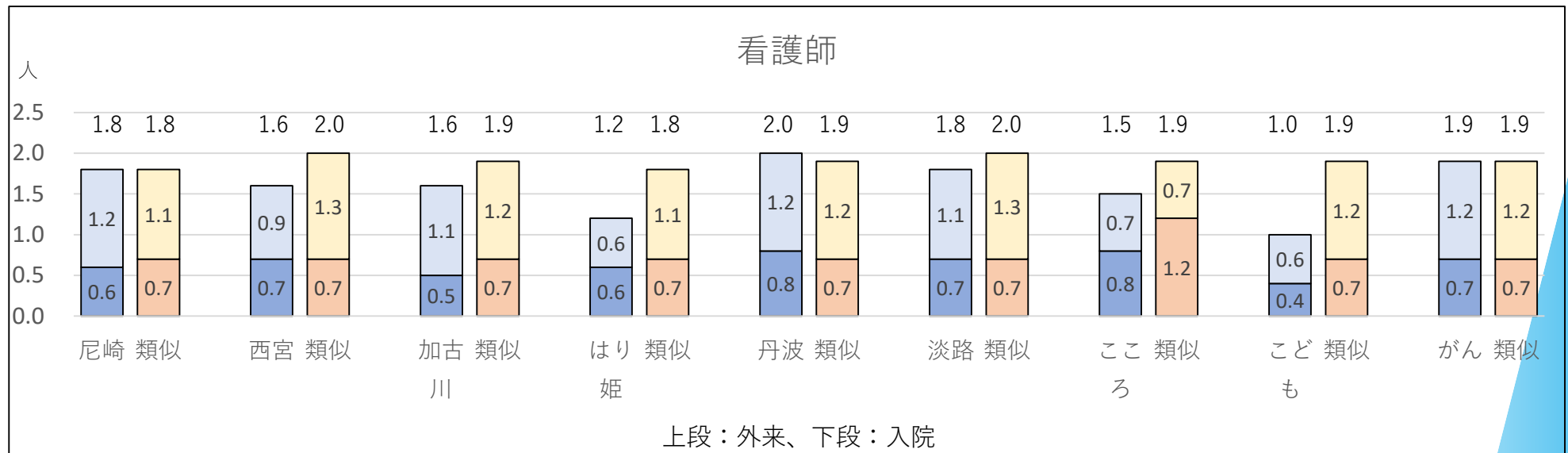
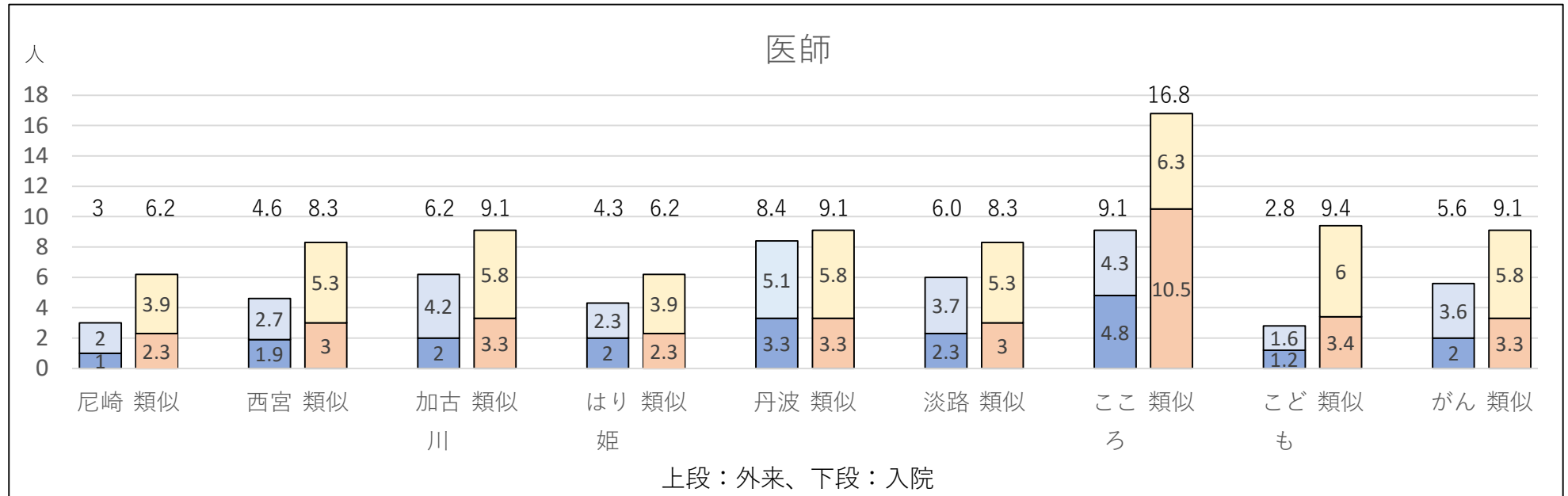
給与費比率への影響が大きい医師・看護師の職員数等は病院により大きく異なる

区分	稼働 病床数	医師1人1日 あたり診療収入 (万円)		看護師1人1日 あたり診療収入 (万円)		R5.4 職員数(人)				看護師
						医師				
		県立病院	類似病院	県立病院	類似病院	正規	専攻医	研修医	合計	
尼崎	730	13.6	27.7	8.1	7.7	216	150	49	415	1,153
西宮	400	18.8	29.7	6.4	7.2	99	37	20	156	469
加古川	353	24.2	29.6	6.3	6.3	82	16	12	110	439
はり姫	736	23.6	27.7	6.7	7.7	166	63	24	253	1,004
丹波	320	26.8	29.6	6.1	6.3	52	9	7	68	341
淡路	437	24.3	29.6	7.3	7.2	94	21	22	137	508
こころ	254	16.3	28.5	2.7	3.1	17	15	0	32	191
こども	280	15.5	26.9	5.4	5.5	108	83	0	191	598
がん	360	35.6	29.6	12.0	6.3	110	18	0	128	382
合計	3,870	—	—	—	—	944	412	134	1,490	5,085

※1人あたり診療収入出典：総務省 令和4年度 病院経営比較表

R4病院経営比較表における職員1人1日あたり患者数

職員1人あたり患者数も類似病院より低い傾向にある



※はり姫は開院年度の診療制限による影響あり

看護師夜勤基準の各種規定

本県の基準は健康管理の観点から看護協会のガイドラインを遵守

(診療報酬制度)

入院基本料を算定する病棟において、同一の入院基本料を算定する全病棟の看護職員の**月平均**夜勤時間数は**72時間以下**となる必要がある

※月平均夜勤時間数 = 夜勤従事者の延べ夜勤時間数 / 夜勤従事者数

月平均夜勤時間72時間要件が定められているのは、入院基本料を算定する病棟についてのみ

※**ICUなど特定入院料（常時2対1等）を算定する病棟は対象外**

(公益社団法人日本看護協会 看護職の夜勤・交代制勤務に関するガイドライン)

夜勤回数は3交代制勤務で**月8回**以内を基本

(兵庫県病院局の配置基準)

本県での看護師の夜勤回数は、基本的な勤務体制である3交代の職員においては、一人につき**月8回（病棟の区別なし）**

民間病院との夜勤配置の比較

本県は1人あたり夜勤8回を基本に人員を配置

想定病院		兵庫県立病院	民間病院を参考にした想定
看護定数の考え方		定数ベースでの 夜勤配置基準から算出	実入院患者ベースでの 施設基準[7:1等]から算出
実配置		夜勤配置×7.75+師長	稼働80%、6:1を想定
夜勤上限 の考え方	一般病棟	8回/月（1人あたり）	72時間/月（全職員平均）
	集中系	8回/月（1人あたり）	上限なし
42床の例	職員数	25人（3-8体制）	24人
	配置 イメージ	日勤 11.9名 準夜・深夜 3名	日勤 11.1名 準夜・深夜 3名
49床の例	職員数	32人（4-8体制）	28人
	配置 イメージ	日勤 14.9名 準夜・深夜 4名 ※日勤で適宜他部署への応援を実施	日勤 12.0名 準夜・深夜 4名
夜勤配置		平日・土日とも同数	土日を少なめに配置 することもあり

※配置イメージは職員の稼働率を加味せず試算

本県看護体制における想定稼働率

本県の標準的な病棟看護体制において、7対1を維持できる想定稼働率

病床数	職員定数	想定稼働職員数	7：1体制での想定稼働率
42床の例	25人(3－8体制)	22.5人(定数の90%)	89.3%
49床の例	32人(4－8体制)	28.8人(定数の90%)	98.0%

計算式

$$\frac{(\text{病床数}) \times (\text{病床稼働率})}{(\text{看護体制})} \times (3 \text{ 交代}) \times 7 \text{ 日} \div \left[\begin{array}{c} 1 \text{ 人} \\ 1 \text{ 週あたり} \\ \text{勤務日数} \end{array} \right] = (\text{実看護師数}) \times (\text{職員稼働率})$$

病院・病棟別の病床数・稼働率(R5)

(上段：病床数(床) 下段：稼働率 ※他科との混合病棟含む)

病院	合計	集中系	一般	産科 [集中系含]	緩和	精神	R6計画 稼働率
尼崎	730 [88%]	85 [70%]	572 [92%]	65 [85%]		8 [40%]	93%
西宮	400 [76%]	17 [76%]	306 [79%]	77 ※ [65%]			80%
加古川	353 [70%]	26 [64%]	302 [71%]		25 [60%]		76%
はり姫	736 [81%]	76 [73%]	603 [83%]	21 [86%]	20 [83%]	16 [55%]	88%
丹波	320 [85%]	6 [74%]	256 [86%]	36 ※ [79%]	22 [89%]		89%
淡路	437 [78%]	25 [102%]	335 [84%]	32 ※ [60%]	一般病棟内 に2床設置	45 [55%]	82%
こころ	254 [66%]					254 [66%]	72%
こども	290 [84%]	16 [82%]	191 [88%]	83 [73%]			84%
がん	360 [69%]	8 [68%]	350 [71%]		一般病棟内 に4床設置		73%



兵庫県